

- 第1期（H27～R1）では、本県の強みや独自性を最大限に生かした5つの基本目標を掲げ、地方創生の取組を推進してきた。

基本目標1 北陸新幹線金沢開業効果の最大化と県内各地・各分野への波及
基本目標2 多様な人材を惹きつける魅力ある雇用の場の創出
基本目標3 学生のUターン・県内就職と移住促進
基本目標4 結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援
基本目標5 高齢化など時代の変化に対応した地域づくり

- 北陸新幹線金沢開業を契機に、これまで進めてきた陸・海・空の交流基盤整備の効果の発現・持続や、国立工芸館の移転などの成果が出ている。

また、自然増減については、ライフステージに応じた切れ目のない支援等により合計特殊出生率が上昇している。

一方、社会増減については、東京一極集中の加速により転出超過が拡大しているものの、移住施策を通じた移住者数は着実に増加している。

- 第1期における本県の地方創生の取組は、一定の成果を上げているが、地方創生は一朝一夕には成しえないことから、中長期的に継続して取り組むことが必要

<第2期の基本的な考え方>

第1期の成果を踏まえ、引き続き、本県の強みや独自性を最大限に生かし、
現行の基本目標の枠組を維持したうえで、時代の変化にも柔軟に対応し、
具体の施策の強化を図る ※国においても、現行の枠組を引き続き維持し、取組を充実・強化

第2期いしかわ創生総合戦略 基本目標

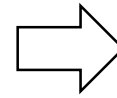
現 行

第2期

基本目標

1

北陸新幹線金沢開業効果の最大化と
県内各地・各分野への波及



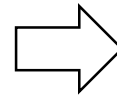
北陸新幹線金沢開業効果の**持続発展**と
県内全線開業効果の**県下全域**への波及

- ・北陸新幹線金沢開業効果が持続している中、令和5年春には県内全線開業
- ・相次いで完成する金沢港クルーズターミナル、国立工芸館、鼠多門・鼠多門橋の活用や、新幹線の県内全線開業など、本県の強みを生かした交流の拡大が必要

基本目標

2

多様な人材を惹きつける魅力ある
雇用の場の創出



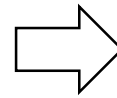
多様な人材を惹きつける**生産性の高い**
魅力ある雇用の場の創出

- ・有効求人倍率が高い水準で推移するなど人手不足感が強まる中、AI・IoTや5Gの活用など、企業の生産性向上の取組の強化や、農林水産業の成長産業化などを通じた魅力ある雇用の場の創出が必要

基本目標

3

学生のUターン・県内就職と移住定住
の促進



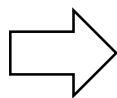
学生のUターン・県内就職や移住定住
の促進と**新しい人の流れの創出**

- ・東京一極集中の是正に向け、大卒者の県内就職促進、子育て世帯を中心とした移住促進の強化に加え、将来的な移住の裾野拡大を見据え、関係人口の増加など新しい人の流れを創出する取組の強化が必要

基本目標

4

結婚、妊娠・出産、子育てといった
ライフステージに応じた切れ目のない支援



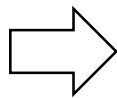
結婚、妊娠・出産、子育てといった
ライフステージに応じた切れ目のない支援

- ・未婚者の約6割が結婚を希望し、子育てに関する不安が依然として高い県民の意識や、児童虐待などの子育てを取り巻く環境の変化に対応するため、引き続きライフステージに応じた施策の展開が必要

基本目標

5

高齢化など時代の変化に対応した
地域づくり



時代の変化に対応した**誰もが活躍できる**
魅力的な地域づくり

- ・生産年齢人口の減少が進む中、時代の変化に対応するとともに、高齢者や障害者など誰もが活躍できる魅力的な地域づくりの推進が必要

第2期いしかわ創生総合戦略 数値目標

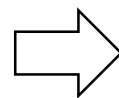
数値目標については、県長期構想や国の第2期総合戦略と整合性を図りつつ、第1期の成果を踏まえ、目標値を見直す。

現行の数値目標

基本目標

1

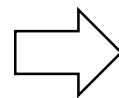
- ・ 県内観光入り込み客数
2,161万人(H26) → 2,750万人(R1)
- ・ 外国人宿泊者数
29万人(H26) → 60万人(R1)



基本目標

2

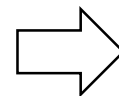
- ・ 就業者数及び全国比率
594千人、0.935% (H26)
→583千人、全国比率増加(R1)



基本目標

3

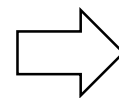
- ・ 本県人口の転入出数
転出超過586人(H26) → ±0人(R2)



基本目標

4

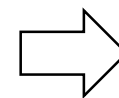
- ・ 合計特殊出生率
1.45(H26) → 1.58(R1)
(1.8(R10)、2.07(R20))



基本目標

5

- ・ 介護職員数
16千人(H24) → 20千人(R1)



第2期の数値目標

- ・ 県内観光入り込み客数
2,492万人(H30) → 2,950万人(R6)
- ・ 外国人宿泊者数
68万人(H30) → 95万人(R6)

- ・ 就業者数及び全国比率
614千人、0.921% (H30)
→606千人、全国比率増加(R6)

- ・ 本県人口の転入出数
転出超過2,556人(R1) → ±0人(R6)

- ・ 合計特殊出生率
1.54(H30) → 1.70(R6)
(1.8(R10)、2.07(R20))

- ・ 健康寿命
健康寿命(H28) 男性72.67歳、女性75.18歳
平均寿命(H27) 男性81.04歳、女性87.28歳
→平均寿命の増を上回る健康寿命の増

第2期いしかわ創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標（KPI）については、

- ①継続的に取り組む施策は、第1期の成果を踏まえ目標値を見直す
- ②新たな観点で施策を強化するものは、新規にKPIを設定
- ③既に目標達成等により事業を終了したものは、KPIを削除することとし、現行のKPI数（計161）と同程度の指標を設定

(KPIの例)

<目標値を見直すもの>

項目	現行	第2期
小松空港の国際線利用者数	188,194人(H26)→目標:230,000人(R1)	243,874人(H30) →目標: 292,000人(R6)
プレミアム・パスポート事業協賛店舗数	2,304店舗(H26)→目標:3,000店舗(R1)	2,790店舗(H30) →目標: 3,300店舗(R6)
本県への移住者数 (県・市町の制度活用等による)	347人(H26) →目標:500人(R1)	1,182人(H30) →目標:1,500人(R6)

<新規に項目を設定するもの>

項目	現行	第2期
いしかわ婚活応援企業数	—	188社(H30) →目標:400社(R6)
AI・IoT等導入支援件数	—	51件(H29-30) →目標:170件(R2-6)

第2期いしかわ創生総合戦略 最終案の概要

基本目標

1

北陸新幹線金沢開業効果の持続発展と県内全線開業効果の県下全域への波及

- 【数値目標】
- ・ 県内観光入り込み客数 [2,492万人(H30) → 2,950万人(R6)]
 - ・ 外国人宿泊者数 [68万人(H30) → 95万人(R6)]

新たな取組の方向性

- ・ 相次いで完成する金沢港クルーズターミナル、国立工芸館、金沢城鼠多門・鼠多門橋を最大限活用した交流拡大
- ・ 「第二の開業」とも云うべき北陸新幹線の県内全線開業に向けた準備の加速

具体的な施策(記載内容は一例)

(1) 誘客の推進と満足度向上による石川ファンの拡大

① 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進

- ・ いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催

② 石川の優れた文化の活用と継承・発展

- ・ 国立工芸館の完成と開館を契機とした工芸の魅力発信
- ・ 工芸サミットの開催 ・ 国民文化祭の開催準備
- ・ 新県立図書館の整備推進(建設・展示工事)
- ・ 「加賀百万石文化めぐり」を通じた多彩な文化イベントの切れ目ない展開

③ 観光地の活性化とまちづくりの推進

- ・ 金沢城鼠多門・鼠多門橋の完成と加賀百万石回遊ルートの形成
- ・ 金沢城二の丸御殿の復元に向けた調査検討(史実に沿った「表向」の復元整備を目指した復元整備基本方針の策定)
- ・ 兼六園・金沢城公園のライトアップ(金沢城公園の夜間開園の拡充)
- ・ コマツの協力による木場潟公園東園地の整備
- ・ 金沢港の賑わい創出

④ MICEや教育旅行の誘致

(2) おもてなしの向上

- ・ 金沢中央観光案内所のオープン
- ・ 観光客の声を生かしたおもてなし向上の仕組みづくり(アンケート調査によるお客様の声の県全体での共有、受入体制の改善活動など)

(3) 観光振興を担う人材の育成・充実

(4) 情報発信の充実

- ・ インターネットやSNS等を活用したきめ細やかな情報発信
- ・ 三大都市圏など重点エリアでの誘客プロモーションやイベントの実施
- ・ JR東日本グループの強みを生かした首都圏アンテナショップでの情報発信

(5) 広域連携による周遊観光の促進

- ・ JRと北陸3県が連携した年間を通じた誘客キャンペーン

(6) 海外誘客の推進

- ・ 旅行会社等のネットワークを活用した更なる誘客強化
- ・ 新幹線沿線自治体等と連携した新たなゴールデンルートの定着促進

(7) 陸・海・空の更なる交流基盤整備と活用

- ・ 北陸新幹線の建設促進 ・ 道路網の整備(金沢外環状道路等)
- ・ 小松空港、のと里山空港の国内線、国際線の利用促進(小松空港運用時間延長による利便性向上PR)(のと里山空港首都圏大手企業の社員向け利用促進)
- ・ 金沢港・七尾港の整備・利用促進(クルーズ客船の誘致強化など)

主なKPI

- ・ 兼六園の入園者数 H30:2,748千人 → 目標:3,400千人(R6)
- ・ 小松空港の国際線利用者数 H30:243,874人 → 目標:292,000人(R6) など

第2期いしかわ創生総合戦略 最終案の概要

基本目標

2

多様な人材を惹きつける生産性の高い魅力ある雇用の場の創出

【数値目標】 ・ 就業者数及びその全国比率 [614千人、0.921% (H30) →606千人、全国比率増加]

新たな取組の方向性

- ・ AI・IoTや5Gの活用など、企業の生産性向上の取組の強化
- ・ 農林水産業における更なる収益力の向上とブランド化の推進

具体的な施策(記載内容は一例)

(1) 企業の生産性向上支援

- ・ AI・IoT等の導入による生産性向上への支援
- ・ ものづくり産業等の5Gの活用の推進

(2) 新技術・新製品の開発・販路開拓支援の強化

- ・ いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドによる新商品開発等の支援
- ・ AI・IoTを活用した高付加価値製品の開発支援
- ・ コマツ・早稲田大学との連携によるAI・IoT高度人材の育成

(3) 炭素繊維複合材料等の次世代産業の創造

- ・ いしかわ次世代産業創造ファンド(次世代ファンド)による産学官が連携した研究開発支援

(4) 海外販路開拓への支援

- ・ 国際ビジネスサポートデスクや海外事務所による企業の海外活動支援
- ・ 現地バイヤーを対象としたビジネス商談会の開催
- ・ 海外アンテナショップによる現地消費者に対する県産品の魅力発信・販売

(5) 本社機能の立地促進など戦略的企業誘致

- ・ 管理部門や研究開発部門などの本社機能移転を含めた誘致活動
- ・ 能登地域等におけるサテライトオフィスの誘致推進

(6) 地場産業の経営安定化と基盤強化

- ・ 制度融資や外部専門家派遣などによる経営基盤の強化
- ・ 事業承継に対する相談の実施、商工会・商工会議所の指導力強化

(7) 産業人材の総合的な確保・育成

- ・ いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)によるマッチング
- ・ インターンシップモデルプログラム事業
(学生、社会人UIターン、女性・高齢者向けインターンシップの実施)

(8) 農林水産業の成長産業化と農山漁村地域の振興

① 他産業との連携による収益性の向上

- ・ コマツと連携した低コストな水稻生産モデルの普及・PR
(農業用ブルドーザ、ドローンの技術習得研修の開催など)

② 農林水産物の更なる販路開拓と海外展開

- ・ 「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」の制定

③ 多様な担い手の確保と基盤整備

- ・ いしかわ農業総合支援機構によるワンストップ窓口の運営

④ 地域の強みを生かした里山里海の生業づくりと魅力発信

- ・ いしかわ里山振興ファンドによる里山里海地域の振興

主なKPI

- | | | | | |
|-----------------|-------------------|---|------------------|----|
| ・ AI・IoT等導入支援件数 | H30:51件(H29-30累計) | → | 目標: 170件(R2-6累計) | |
| ・ 食品・伝統産業の輸出額 | H30:26億円 | → | 目標: 42億円(R6) | など |

第2期いしかわ創生総合戦略 最終案の概要

基本目標

3

学生のUターン・県内就職や移住定住の促進と新しい人の流れの創出

【数値目標】 ・本県人口の転入出数 [転出超過2,556人(R1) → ±0人]

新たな取組の方向性

- ・大卒者の県内就職促進、子育て世帯を中心とした移住促進の強化
- ・長期的な移住の裾野拡大を見据えた、関係人口の増加など、新しい人の流れの創出

具体的な施策(記載内容は一例)

- (1) 高等教育機関の集積を生かした「学都石川」の魅力向上
 - ・関東・関西圏高校からの学生獲得(進路指導教員招へい等)
 - ・県内全域での学都石川合同進学説明会の開催
- (2) 高等教育機関の集積を活用した県内大学の学生の定着促進
 - ・インターンシップマッチング交流会、学生と若手社員との交流会、合同企業説明会等の開催
 - ・ISicaの利活用による学生の県内就職の促進
 - ・学生向けインターンシッププログラムの開発支援[再掲]
 - ・県内大学による1・2年生中心の就業体験・説明会への支援
- (3) 県外大学に進学した学生のUターン就職に向けた取り組み
 - ・インターンシップマッチング交流会、学生と若手社員との交流会、合同企業説明会等の開催[再掲]
 - ・ISicaの利活用による学生の県内就職の促進[再掲]
 - ・学生向けインターンシッププログラムの開発支援[再掲]
- (4) 社会人Uターン就職に向けた取り組み
 - ・石川県及び東京・大阪におけるILACの相談対応、マッチング
 - ・移住における経済的負担の軽減(いしかわ移住パスポート(Iパス))
 - ・社会人向けインターンシップの導入支援[再掲]
- (5) ふるさと教育の充実と魅力ある文化の活用
 - ・石川版教科書「ふるさと石川」による授業
 - ・子どもに対する伝統芸能など芸術鑑賞機会の提供
 - ・いしかわ子ども自然学校の実施
 - ・文化情報を一元的に発信するポータルサイトの運営
- (6) 移住定住の促進
 - ・移住者などの生活者目線による本県暮らしの魅力発信
 - ・いしかわUターン大相談会の開催(関東圏、関西圏)
 - ・県民との協働によるILAC紹介キャンペーンの実施
 - ・社会人向けインターンシップの導入支援[再掲]
- (7) いしかわ応援団(関係人口)の創出・拡大
 - ・働きながら暮らしを体験する学生向け交流プログラムの実施
 - ・地域活動を通じた社会人向け交流プログラムの実施
 - ・いしかわ農村ボランティア事業による里山保全活動の推進

主なKPI

- ・県内出身県外大学生のUターン就職率 H30: 約6割 → 目標: 約7割(R6)
- ・本県への移住者数 H30: 1,182人 → 目標: 1,500人(R6) など

第2期いしかわ創生総合戦略 最終案の概要

基本目標

4

結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援

【数値目標】 ・合計特殊出生率 [1.54(H30)→1.70(R6)]

新たな取組の方向性

・ライフステージに応じた少子化対策施策を展開

具体的な施策（記載内容は一例）

(1) 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実

- ・「いしかわ結婚支援センター」を拠点とした結婚支援の推進
- ・「縁結びist」や「いしかわ婚活応援企業」の増加による支援の強化
- ・婚活イベントによる出会いの機会の充実
- ・「石川しあわせ婚応援パスポート（婚パス）」による結婚に係る経済的負担の軽減
- ・高校生や大学生を対象としたライフプランセミナーなどの実施

(2) 出産の希望がかない、安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進

- ・子育て世代包括支援センターによる切れ目のない相談支援の実施
- ・不妊治療に対する助成の充実（第2子以降の特定不妊治療助成）
- ・県立中央病院における高度周産期医療の充実

(3) 安心して子育てできる環境の整備

- ・マイ保育園制度の充実強化（市町によるマイ保育園の周知強化、SNS等を活用した相談機能の強化）
- ・認定こども園の保育教諭の資質向上（保育・教育アドバイザーの養成・派遣、保育教諭研修体系の構築）
- ・プレミアム・パスポート事業による子どもが2人以上いる世帯への支援
- ・男性の子育て参画の促進（パパ子育て応援企業の認定、普及啓発キャンペーンの実施など）
- ・児童虐待防止に向けた対応の強化（児童相談所の体制強化、市町や関係機関向けの対応マニュアルの作成と研修の実施）

(4) 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進

- ・一般事業主行動計画の策定支援（PRのためのロゴマークの作成）
- ・男性の子育て参画の促進（パパ子育て応援企業の認定、普及啓発キャンペーンの実施など） [再掲]

主なKPI

・県の結婚支援事業による成婚数（累計）	H30:884組	→	目標:1,750組(R6)	
・マイ保育園利用登録率	H30:62.8%	→	目標:80.0%(R6)	など

第2期いしかわ創生総合戦略 最終案の概要

基本目標

5

時代の変化に対応した誰もが活躍できる魅力的な地域づくり

【数値目標】 ・健康寿命[健康寿命(H28)男性72.67歳、女性75.18歳、平均寿命(H27)男性81.04歳、女性87.28歳→平均寿命の増を上回る健康寿命の増]

新たな取組の方向性

- ・高齢者や障害者など誰もが活躍できる魅力的な地域づくりの推進
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としたスポーツを通じた本県の活力創造

具体的な施策(記載内容は一例)

(1) 誰もが生き生きと暮らすことができる地域づくり

- ・保健師等による「お達者ですか訪問」の実施
- ・傾聴ボランティア活動の支援
- ・共生社会のモデルとなる地域コミュニティの認証
- ・外国人に対する日本語教育や生活・法律相談の実施
- ・自主防犯活動の担い手となる防犯ボランティアの活動支援

(2) 介護・福祉人材の確保

- ・高校等への介護・福祉の仕事の魅力伝道師の派遣
- ・介護・福祉の仕事の魅力発見ツアーの実施
- ・福祉人材センターによる介護・福祉人材のマッチング支援
- ・介護施設におけるICT・IoT導入促進(介護ロボットなど)
- ・介護福祉士を目指す留学生や外国人介護職員に対する日本語教育支援
- ・介護技能グランプリの開催

(3) 健康寿命の延伸

- ・生活習慣病予防に配慮し、かつ、美味しい「いしかわヘルシー&デリシャスメニュー」の普及
- ・「いしかわ健康経営宣言企業」の認定などによる企業の健康経営促進

(4) 本県スポーツの裾野拡大と競技力向上

- ・「いしかわ県民スポーツの日」の制定
- ・「いしかわスポーツマイレージ」の利用促進(グループランキング機能の追加)
- ・県内トップスポーツチームとの連携協定による地域活性化

(5) 地域医療等の確保

- ・在宅医療の充実
- ・医療従事者の確保と質の向上(修学資金貸付、勤務環境改善に関する研修会の開催など)

(6) 人口減少・高齢化に対応した安全・安心な魅力的な地域づくり

- ・インフラ等公共施設の戦略的な維持管理・更新等の推進
- ・空き家対策・活用の推進(相談窓口の設置、空き家バンク登録の推進)
- ・生活を支える交通基盤の確保
- ・自主防災組織や消防団の充実強化による地域防災力の向上(防災士の育成目標数の引き上げ(8,000人→12,000人))
- ・魅力ある地域づくりの支援

主なKPI

- | | | | |
|----------------------|------------|---|----------------|
| ・地域見守りネットワーク協定締結事業者数 | H30:67事業者 | → | 目標:80事業者(R6) |
| ・防災士数 | H30:6,067人 | → | 目標:12,000人(R6) |